

タイトル	シンポジウム 2011年度北海学園大学市民公開講座「 コンテンツ・ビジネスの変容：工場から工房へ」 概要
著者	
引用	北海学園大学学園論集(152): 199-199
発行日	2012-06-25

《シンポジウム》

2011 年度 北海学園大学市民公開講座 コンテンツ・ビジネスの変容—工場から工房へ—

講座概要（講座パンフレットより抜粋）

21 世紀、情報化によってビジネスが目まぐるしく変化しています。インターネットではデジタル情報そのものがビジネスの対象となっています。また、数年前、一国の首相がマンガ・アニメを一大政策に掲げるほど、我が国で作られるアニメ・マンガといった作品は世界で注目を集めています。これら作品もデジタル情報から産み出されたものです。

マンガ・アニメ・映画・フィギュア・ライトノベル・ゲームなどの作品を産み出す産業をコンテンツ産業と呼びます。コンテンツ産業での製品は

創造→制作→流通→小売・消費

といった過程で作られ、創造→制作という過程で他の産業とは一線を画します。

そこで、本市民講座ではコンテンツ産業に注目し、コンテンツ産業の特徴と可能性について議論します。この講座より、コンテンツ産業が 21 世紀の経営のあり方を変えうることを伝えたいと思います。

一方で、作品そのものが魅力的でなくてはなりません。ストーリー、作品のコンセプト、この完成度も求められます。その意味でも、「創造」も重要になります。そこで、今回はアートの分野の先生方のお話をいただき、作品そのものを考える機会も用意いたしました。

最後に、コンテンツ産業は多数なスタッフによる作業の集積体でもあります。最終日にはパネルディスカッションによって、本講座を完成させます。本講座もアートと経営のスタッフによるコラボレーションをお見せできればと思います。

プログラム ※タイトルは 2011 年度市民公開講座当時の名称

2011 年 10 月 8 日（土） 14 時 00 分～17 時 00 分

開会式・挨拶

学長 木村 和範

講演 1

ファンあつてのコンテンツ産業？
—インターネット上で見せるアニメ
の広がり—

経営学部 関 哲人

講演 2

ハリー・ポッターとは何か

経済学部 三浦 京子

講演 3

現代美術作品の価値

工学部 原井 憲二

2011 年 10 月 9 日（日） 9 時 30 分～13 時 00 分

講演 4

現代日本映画とコンテンツ

人文学部 大石 和久

講演 5

コンテンツ・ビジネスの衝撃

経営学部 澤野 雅彦

パネルディスカッション

企画 澤野 雅彦

司会 関 哲人

会場：北海学園大学豊平キャンパス 7 号館 3 階 D 30 番教室